

8-3-5 社会資本整備のあり方検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回

(企画委員会と同一日に開催)

(2) 委員会の活動経緯

平成17年度に企画委員会内に設置された「社会資本整備のあり方検討WG」は、当初、企画委員会委員の在京メンバーによって活動に着手し、建設コンサルタンツ協会ホームページのうちの「建設コンサルタントという仕事」のページのリニューアル版の制作等を担当した。

その後、平成18年5月より協会の正式な専門委員会として発足した。企画委員会委員全員をメンバーとし、これに建設コンサルタンツ協会インフラストラクチャー研究所研究員を加えて活動を実施してきている。

(3) 委員会の活動内容

当専門委員会は、中期行動計画の施策「1-3 建設コンサルタントの役割の提案」「1-6 社会資本整備のあり方の提言」「2-6 社会ニーズの掘り起こしと技術開発」「4-2 自律した経営の実践方策」を担当し、専門家集団としての役割の発揮と社会貢献を果たすため、これからの社会資本整備のあり方の中での建設コンサルタントの役割について情報発信、問題提起等を行うことをミッションとしている。

a) 「建設コンサルタントの役割の提案」

に関する検討活動

本WGのミッションである、これからの社会資本整備のあり方、その中での建設コンサルタントの役割の提案というテーマに関して、中期行動計画（5年間）に基づく活動を進めている。

過年度までの検討成果をふまえて、今年度はこれからの社会整備のあり方として重要になる政策マネジメント・事業マネジメント・エリアマネジメントにおける建設コンサルタントの役

割を、道路の包括的管理業務に焦点を絞って検討した。

今後も、包括的管理業務を中心に、建設コンサルタントの役割の提案に関する議論を深めるとともに、建設コンサルタンツ協会各委員会、協会企業等に対して情報発信や問題提起、提案等を行っていく方向で活動を継続していく。

b) 小学生向け体験レポートコンテストの実施

小学生を対象に、実際に社会資本を観察・見学してもらい、体験レポートを応募してもらう企画を例年どおり実施した。コンテストの概要は次の通りである。

・参加資格：小学生

・テーマ：社会資本（土木施設）について考える（題名自由）

・応募期間：平成29年6月～9月

・審査員：企画委員会 社会資本整備のあり方検討WG委員

・応募数：42編

・審査結果：優秀賞7編、参加賞35編

なお、本コンテストは社会資本整備に対する一般の方の理解を深めるため過去7年（7回）実施してきたが、実施効果等をふまえて次年度以降の活動は中止することを決定した。

あわせて、本コンテストと関連の強い「もしもランドのなるほど！わく×2まちづくり（平成22年度開設）」を協会ホームページから削除することを決定した。

2. 次年度の活動について

「建設コンサルタントの役割の提案」に関する検討活動」等を引き続き行っていく予定である。道路の包括的管理業務に焦点を絞り、事業スキーム、建設コンサルタントが担う業務範囲、必要な先端技術、自律した経営の実践方策等について検討する予定である。

(社会資本整備のあり方検討WG

WG長 伊藤 弘明)